
IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **1** 化学物質等の規制，管理の内外の動向に関する知識

単位数	項目番号	項 目
2 単位	1-1	＜化学物質のリスク管理に関する日本の法制の概要等＞ ・法・社会法等 ・労働安全衛生関係法令（有害物規制を中心に） ・労働契約法と安全配慮義務 ・産業活動に伴う国民や一般環境へのリスク ＜ハイジニストの倫理について＞ ・ハイジニストの倫理について
2 単位	1-2	＜世界の安全衛生の動きの理解＞ ・英国労働健康安全法制定の経緯（ローベンス報告） ・EU 安全衛生枠組指令とリスクアセスメント ＜EUの安全衛生及び環境＞ ・その他の EU 指令 ・RoHS 指令 ・REACH 規則の成り立ちと概要 ＜米国安全衛生法＞
2 単位	1-3	＜ILOの動き＞ ・ILO 条約 ・OSHMS ・ILO コントロール・バンディング ＜国連及び国連機関の環境・安全の動き＞ ・アジェンダ 21 ・国連 GHS 文書 ・IPCS と ICSC、EHC、CICAD

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **2** 労働環境における化学物質のリスク評価・リスクとばく露管理

単位数	項目番号	項 目
2 単位	2-3	<リスク評価と手順, 方法> ・リスクの評価・リスクの管理の手法および手順 ・厚生労働省の化学物質のリスクアセスメント指針の理解 ・簡易推定法および推定法と適用の注意事項等 [演習] <リスク管理の方法の優先順位> ・リスク管理の方法の優先順位 ・事例研究
6 単位	2-1	<ばく露評価と管理> ・作業環境測定(A・B、C・D 測定) ・作業環境測定のリスク判定、リスク管理への応用 ・個人ばく露測定 ・個人ばく露測定と作業環境測定の相違点
2 単位	2-4	<ばく露評価と管理> ・生物学的(バイオロジカル)モニタリング [演習] (例) ・バイオロジカルモニタリングの意義と実施上の留意点
2 単位	2-2	<ばく露評価と管理> ・気中ばく露濃度推定モデル, ボックスモデル 等

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 3 労働環境における化学物質のハザード評価

単位数	項目番号	項 目
3 単位	3-5	<ハザード情報とその区分> ・危険有害性概論 ・GHS とハザードクラス(化学物質の健康有害性に加え危険性の説明も含む), カテゴリー ・SDS ・ハザード情報の収集, ハザード情報源, データベース
5 単位	3-4	<化学物質等の人体のばく露限界値等の設定> ・量－影響関係 ・量－反応関係 ・閾値 ・NOAEL ・LOAEL ・不確実係数 ・ばく露限界値の設定 ・許容濃度(職業的ばく露限界値 OEL), 日本産業衛生学会値 等 ・ACGIH-TLV(TWA, CV, STEL) [課題] (例) ・量－影響関係・量－反応関係の説明 ・ばく露限界値(OEL)とその設定方法 ・毒性試験の意義と種別 等
3 単位	3-1	<毒性物質の体内動態> ・化学物質の生体内動態, 分布, 代謝, 排泄(肝臓, 腎臓の医学, 機能, 生理学の説明を含む) ・毒性の発現機序 等
2 単位	3-2	<発がん物質> ・化学発がん(発がんの機序, 発がん性分類, 職業性がん)
2 単位	3-3	<化学物質の毒性の検出方法> ・毒性試験とその種別 ・構造－活性相関 等
3 単位	3-6	<化学物質等による毒性総論> ・化学物質等による毒性総論(標的臓器, 健康影響, 職業性疾病) ・標的臓器の医学, 機能と生理学(粉じんの健康影響に関連して気管と肺, 脳・神経毒性に関連して脳・神経系統, 皮膚の構造と皮膚吸収) 等

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **4** 労働環境における物理的有害因子のリスク管理

単位数	項目番号	項 目
3 単位	4-1	<非電離放射線のリスク管理> ・電磁場と影響及びリスク管理 ・紫外放射と影響及びリスク管理 ・可視光 ・レーザー光と影響及びリスク管理 ・眼の医学・解剖学
3 単位	4-2	<電離放射線のリスク管理> ・電離放射線と影響及びリスク管理 ・非確定的影響と確率的影響 ・放射線防護 ・被ばく防止対策
2 単位	4-3	<振動のリスク管理> ・振動を伴う作業環境と影響及びリスク管理
2 単位	4-4	<温熱のリスク管理> ・温熱作業条件と影響及びリスク管理
2 単位	4-5	<気圧のリスク管理> ・異常気圧下作業と影響及びリスク管理
2 単位	4-6	<騒音, 超音波のリスク管理> ・騒音下作業と影響及びリスク管理, 超音波と影響及びリスク管理, 聴覚器官の医学・解剖学を含む

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **5** 労働環境における生物学的有害因子のリスク管理

単位数	項目番号	項 目
3 単位	5-1	＜生物学的因子の有害性発生機序＞ ・微生物 ・細菌 ・ウイルス ・真菌 ・原虫 ・プリオン 等 ＜生物学的因子のリスク評価の実際＞ ・室内空気汚染物質としての生物学的因子の定義 ・微生物エアロゾルによる室内空気汚染 ・浮遊微生物の補修方法 ・浮遊微生物による健康影響 ・生物学的因子のリスク評価 ＜生物学的因子のリスク削減、リスク管理およびリスクコミュニケーション＞ ・生物学的因子のリスク削減と感染症発生リスク要因の評価 ・感染症成立の3要因とリスク削減 等 ＜生物学的因子にかかる緊急リスクへの対応＞ ・感染症が発生した場合 ・特定の感染症に対する対策

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **6** 一般環境のハザード・リスク評価及びリスク管理

単位数	項目番号	項 目
3 単位	6-1	<環境科学概論> ・環境汚染物質 ・環境リスクと安全 ・大気汚染 ・水質汚濁 ・土壌汚染 ・地球環境問題 ・環境倫理
2 単位	6-2	<環境保健概論> ・環境汚染物質の人への影響・代謝 ・毒性試験 ・生体濃縮 ・発がん物質 ・環境保健問題の事例 等

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **7** 労働衛生工学概論

単位数	項目番号	項 目
6 単位	7-1	＜有害化学物質等の発散抑制のための工学的対策と管理＞ ・工学的対策の概要 ・工法, 工程の改良 ・発散抑制設備等とその原理及び設計(密閉設備, 局所排気装置, プッシュプル型換気装置, 全体換気装置等) 等
2 単位	7-2	＜排ガス・粉じん・廃液の処理技術＞ ・各種除じん装置 ・排ガス処理装置 ・廃液処理法 等
2 単位	7-3	＜労働衛生保護具＞ ・種類, 構造, 機能, 管理, 使用, 取扱い上の留意点 ・防護係数 ・フィットテスト ・皮膚の保護具 ・目、顔面、聴覚保護具 等

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **8** 工学的対策の基礎（作業環境，一般環境）

単位数	項目番号	項 目
5 単位	8-1	＜化学工学の基礎＞ ＜流体力学の基礎＞ ＜粉体工学の基礎＞

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 9 労働と人間工学

単位数	項目番号	項 目
2 単位	9-1	<健康管理概論> ・健康管理の意義と目的 ・標的臓器 ・正常値 ・許容値 ・一般および特殊健康診断の目的 ・健康診断の事後措置 ・過重労働等に係る面接指導等 ・健康管理に関する情報の管理 ・健康管理手帳制度 ・企業外労働衛生機関 等
1 単位	9-2	<労働衛生教育概論> ・職場における労働衛生教育 ・労働衛生教育の目標 ・労働衛生教育の実際 等
1 単位	9-3	<職業性疾病と作業関連疾患> ・職業性疾病 ・有害要因別の職業的健康障害 ・作業関連疾病 ・特定の労働者の健康管理(シックハウス, 化学物質過敏症等) ・産業保健 等
2 単位	9-4	<産業精神保健概論> ・精神保健対策のあゆみ ・精神障害者の医療 ・地域精神保健福祉対策 ・精神障害者と社会復帰 ・心の健康づくり ・メンタルヘルス 等
4 単位	9-5	<労働と人間工学> ・人間工学とは ・作業方法 ・作業姿勢 ・作業負担の改善 ・上肢作業 ・交替制勤務(深夜業務) ・照明 ・VDT 作業 ・職業性腰痛 等

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **10** 公衆衛生学

単位数	項目番号	項 目
3 単位	10-1	<衛生統計学概論> ・人口静態統計 ・人口動態統計 ・生命表 ・健康状態と受療状況 <食品保健および栄養概論> ・食品衛生法と食中毒 ・食品安全基本法と食品安全 ・食品表示 ・栄養と日本人の食事摂取基準 等 <衛生行政概論> ・衛生行政の沿革 ・衛生行政の組織 ・保健所 等

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **11** 疫学的アプローチの基礎

単位数	項目番号	項 目
3 単位	11-1	<疫学調査> ・疫学調査の目的, 動機, 位置付け ・疫学調査法の分類 ・疫学調査の実施例 等

IOHA 認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座
——カリキュラム——

コース **12** リスクコミュニケーション

単位数	項目番号	項 目
1.5 単 位	12-1	＜残留リスク, リスクコミュニケーション＞ ・リスク削減 ・残留リスク管理
2.5 単 位	12-2	＜残留リスク, リスクコミュニケーション＞ ・リスクコミュニケーション（GHS ハザードコミュニケーションは除く） ・危機管理